



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月27日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神戸 俊郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森下 由紀子 TEL 0561-51-0841
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

百万円未満切捨

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	58,804	8.2	20,142	10.6	21,187	10.5	15,020	12.5
2022年3月期	54,344	31.1	18,215	77.7	19,182	85.7	13,350	92.5

(注) 包括利益 2023年3月期 15,448百万円 (8.9%) 2022年3月期 14,186百万円 (88.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	1,217.45	—	17.3	20.8	34.3
2022年3月期	1,082.11	—	18.3	22.1	33.5

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	108,031	94,215	87.2	7,636.60
2022年3月期	95,899	79,681	83.1	6,458.45

(参考) 自己資本 2023年3月期 94,215百万円 2022年3月期 79,681百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	15,647	△8,755	△1,882	49,585
2022年3月期	14,757	△3,522	△1,132	44,385

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	34.00	—	36.00	70.00	863	6.5	1.2
2023年3月期	—	38.00	—	40.00	78.00	962	6.4	1.1
2024年3月期(予想)	—	43.00	—	43.00	86.00	—	—	—

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,100	△8.7	9,100	△14.3	—	—	—	—	—
通期	61,500	4.6	21,000	4.3	—	—	—	—	—

(注) 経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

除外 2社 (社名) 株式会社MARUWA CERAMIC、株式会社MARUWA QUARTZ

(注) 詳細は、添付資料P.12「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (当連結会計年度における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	12,372,000株	2022年3月期	12,372,000株
2023年3月期	34,649株	2022年3月期	34,492株
2023年3月期	12,337,413株	2022年3月期	12,337,379株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	44,194	9.0	16,908	79.7	19,824	82.5	29,904	285.8
2022年3月期	40,534	40.6	9,409	87.7	10,860	80.1	7,751	57.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	2,423.87	—
2022年3月期	628.26	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	92,910	81,330	87.5	6,592.21
2022年3月期	65,944	52,319	79.3	4,240.69

(参考) 自己資本 2023年3月期 81,330百万円 2022年3月期 52,319百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は2022年4月1日付で、当社の子会社であった株式会社MARUWA CERAMIC及び株式会社MARUWA QUARTZを吸収合併するとともに、合併に伴う抱合せ株式消滅差益を特別利益に計上しました。これらに伴い、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、高インフレに対応した各国の金融引き締め、欧米での金融不安、中国ゼロコロナ政策による製造業の滞りが発生したほか、国内では急激な為替の変動が生じるなど、世界経済に変化の見られる年度となりました。

そのような状況の中、当社グループは、当連結会計年度において、一部中国市場向けで受注の減速が見られたものの、主にEV、半導体製造装置向けの需要が堅調であったことや、セラミック部品各事業で先を見据えた設備投資を継続的に行ったことなどにより、売上高は前期比8.2%増の58,804百万円となり、過去最高を更新いたしました。

また、購入品や電気料金の値上がりなどがあったものの、高付加価値品の増加、従来からの工程改善や生産性の改善などにより、営業利益は前期比10.6%増の20,142百万円、経常利益は前期比10.5%増の21,187百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12.5%増の15,020百万円となりました。売上高営業利益率は、34.3%となりました。

今後も飛躍が期待されるEV、通信、半導体製造装置などの市場において、優れたセラミック材料技術・要素技術や先を見据えた市場戦略により差別化製品の開発・生産を推し進めるとともに、品質の強化やシステム化、自動化によりさらなる競争力の強化を図ってまいります。また、ESGや社会貢献については、企業の使命と捉え引き続き行動してまいります。

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月期)	当連結会計年度 (2023年3月期)	増減率 (%)
売上高	54,344	58,804	8.2
営業利益	18,215	20,142	10.6
経常利益	19,182	21,187	10.5
親会社株主に帰属する当期純利益	13,350	15,020	12.5

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業においては、継続的な設備増強により生産能力が向上したほか、期を通じて特にEV、半導体製造装置向けの需要が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高50,098百万円（前期比9.6%増）、セグメント利益20,204百万円（前期比13.1%増）となりました。

②照明機器事業

当事業においては、ショールームを起点としたオフィス照明案件の獲得、脱炭素社会に向けた公共のLED照明導入の案件の獲得に注力するとともに、急激な円安、部材価格高騰に対応した高採算案件への特化を図り、利益の確保に努めました。

以上の結果、売上高8,706百万円（前期比0.6%増）、セグメント利益1,134百万円（前期比3.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は74,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,485百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。固定資産は33,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,647百万円増加いたしました。これは主に設備投資により有形固定資産が増加したことによるものです。

これらの結果、総資産は108,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,132百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は12,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,043百万円減少いたしました。これは主に法人税等の納付により未払法人税等が減少したことによるものです。固定負債は905百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円減少いたしました。

これらの結果、負債合計は13,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,401百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は94,215百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,534百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益15,020百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は87.2%（前連結会計年度末は83.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、有形固定資産等の取得による支出等の要因があるものの、税金等調整前当期純利益の増加等により前連結会計年度末に比べ5,199百万円増加し、49,585百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動から得られたキャッシュは15,647百万円となり、前期比890百万円の増加となりました。

投資活動に使用したキャッシュは8,755百万円となり、前期比5,232百万円の増加となりました。

財務活動に使用したキャッシュは1,882百万円となり、前期比749百万円の増加となりました。

(4) 今後の見通し

上期は、急速な市場の拡大に伴い特に需要が旺盛となっているEV向け事業について引き続き好調を維持できると考える一方で、情報通信市場で外部環境が弱含んでいるほか、半導体市場で先行きが不透明なことから、慎重に見通しを立てております。

下期は、EV向けの土岐工場新棟が量産開始予定となっており生産能力の拡大が期待されるほか、情報通信市場などでは市場の動きが正常化する見通しとなっております。

このような状況のもと、次期の業績予想を下記のとおりといたします。経常利益以下の各利益につきましては、主に為替要因で変動することが想定され、現時点では見通しが困難なことから、具体的な金額の予想は開示しておりません。

なお、為替レートにつきましては、1ドル130円を前提としております。

2024年3月期第2四半期（累計） 連結業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (2023年3月期)	次期予想 (2024年3月期)	増減率 (%)
売上高	29,668	27,100	△8.7
営業利益	10,616	9,100	△14.3

2024年3月期通期 連結業績予想

(単位：百万円)

	当期実績 (2023年3月期)	次期予想 (2024年3月期)	増減率 (%)
売上高	58,804	61,500	4.6
営業利益	20,142	21,000	4.3

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,621	49,795
受取手形	473	343
売掛金	12,876	10,701
電子記録債権	1,810	1,820
商品及び製品	1,632	2,267
仕掛品	2,648	2,905
原材料及び貯蔵品	3,706	3,767
その他	2,389	3,043
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	70,149	74,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,101	14,075
機械装置及び運搬具（純額）	5,478	7,446
土地	4,699	4,872
建設仮勘定	2,653	3,920
その他（純額）	590	731
有形固定資産合計	23,524	31,046
無形固定資産		
その他	298	284
無形固定資産合計	298	284
投資その他の資産		
投資有価証券	230	534
繰延税金資産	637	484
投資不動産（純額）	948	933
その他	111	114
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,927	2,066
固定資産合計	25,750	33,397
資産合計	95,899	108,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,444	2,975
電子記録債務	2,419	1,542
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	866	333
未払法人税等	4,731	2,684
賞与引当金	866	914
役員賞与引当金	71	124
その他	2,455	4,334
流動負債合計	14,953	12,910
固定負債		
長期借入金	733	400
繰延税金負債	153	141
その他	377	364
固定負債合計	1,264	905
負債合計	16,218	13,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,017	12,018
利益剰余金	59,274	73,381
自己株式	△207	△209
株主資本合計	79,732	93,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104	125
為替換算調整勘定	△155	251
その他の包括利益累計額合計	△51	377
純資産合計	79,681	94,215
負債純資産合計	95,899	108,031

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	54,344	58,804
売上原価	27,018	28,396
売上総利益	27,326	30,408
販売費及び一般管理費	9,110	10,266
営業利益	18,215	20,142
営業外収益		
受取利息	58	107
受取賃貸料	95	98
為替差益	810	861
その他	66	45
営業外収益合計	1,029	1,112
営業外費用		
支払利息	7	5
投資不動産賃貸費用	44	48
その他	11	12
営業外費用合計	63	66
経常利益	19,182	21,187
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	9	—
子会社清算益	—	3
補助金収入	481	515
受取補償金	186	—
特別利益合計	680	519
特別損失		
固定資産除売却損	16	61
固定資産圧縮損	463	481
感染症関連損失	41	—
その他	8	—
特別損失合計	531	542
税金等調整前当期純利益	19,331	21,164
法人税、住民税及び事業税	6,208	5,977
法人税等調整額	△227	166
法人税等合計	5,980	6,143
当期純利益	13,350	15,020
親会社株主に帰属する当期純利益	13,350	15,020

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	13,350	15,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	20
為替換算調整勘定	851	407
その他の包括利益合計	835	428
包括利益	14,186	15,448
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,186	15,448

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,005	46,796	△217	67,231
会計方針の変更による累積的影響額			△8		△8
会計方針の変更を反映した当期首残高	8,646	12,005	46,787	△217	67,222
当期変動額					
剰余金の配当			△863		△863
親会社株主に帰属する当期純利益			13,350		13,350
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		12		12	24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	12	12,486	10	12,509
当期末残高	8,646	12,017	59,274	△207	79,732

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	119	△1,006	△886	66,344
会計方針の変更による累積的影響額				△8
会計方針の変更を反映した当期首残高	119	△1,006	△886	66,335
当期変動額				
剰余金の配当				△863
親会社株主に帰属する当期純利益				13,350
自己株式の取得				△2
自己株式の処分				24
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15	851	835	835
当期変動額合計	△15	851	835	13,345
当期末残高	104	△155	△51	79,681

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,646	12,017	59,274	△207	79,732
当期変動額					
剰余金の配当			△912		△912
親会社株主に帰属する当期純利益			15,020		15,020
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		0		0	1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	14,107	△1	14,106
当期末残高	8,646	12,018	73,381	△209	93,838

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	104	△155	△51	79,681
当期変動額				
剰余金の配当				△912
親会社株主に帰属する当期純利益				15,020
自己株式の取得				△2
自己株式の処分				1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20	407	428	428
当期変動額合計	20	407	428	14,534
当期末残高	125	251	377	94,215

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,331	21,164
減価償却費	2,570	3,087
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
固定資産除売却損益 (△は益)	13	61
固定資産圧縮損	463	481
受取利息及び受取配当金	△63	△112
支払利息	7	5
補助金収入	△481	△515
受取補償金	△186	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,883	2,388
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,527	△917
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,519	△1,324
その他	277	△1,007
小計	18,005	23,310
利息及び配当金の受取額	63	112
利息の支払額	△7	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,489	△7,769
補償金の受取額	186	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,757	15,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△12	31
有形固定資産の取得による支出	△3,738	△8,697
有形固定資産の売却による収入	6	0
無形固定資産の取得による支出	△70	△27
投資有価証券の取得による支出	△235	△286
投資有価証券の売却による収入	232	—
補助金の受取額	285	211
その他	9	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,522	△8,755
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△100
長期借入金の返済による支出	△266	△866
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△863	△912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132	△1,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	394	188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,497	5,199
現金及び現金同等物の期首残高	33,888	44,385
現金及び現金同等物の期末残高	44,385	49,585

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

2022年4月1日付で、当社の特定子会社であった株式会社MARUWA CERAMIC及び株式会社MARUWA QUARTZは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「セラミック部品事業」及び「照明機器事業」の2つを報告セグメントとしております。

「セラミック部品事業」は、電子部品やセラミック基板、半導体製造装置に関連する製品等を生産・販売しております。「照明機器事業」は、従来照明機器のほかLEDを使用した照明機器を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	連結財務諸表計上額(注) 2
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,690	8,653	54,344	—	54,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	18	25	△25	—
計	45,697	8,672	54,369	△25	54,344
セグメント利益	17,872	1,180	19,052	△836	18,215
セグメント資産	84,834	8,408	93,242	2,656	95,899
その他の項目					
減価償却費	2,400	101	2,502	67	2,570
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,445	297	3,743	185	3,929

(注) 1. セグメント利益の調整額△836百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△852百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額2,656百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金（定期預金等）、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。

4. 減価償却費の調整額67百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額185百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	連結財務諸表計上額(注) 2
	セラミック部品事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,098	8,706	58,804	—	58,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	20	28	△28	—
計	50,106	8,726	58,832	△28	58,804
セグメント利益	20,204	1,134	21,339	△1,197	20,142
セグメント資産	97,480	8,069	105,550	2,481	108,031
その他の項目					
減価償却費	2,923	97	3,020	66	3,087
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	10,311	44	10,356	180	10,537

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,197百万円には、セグメント間取引消去74百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,272百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額2,481百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産です。その内容は、親会社の余資運用資金(定期預金等)、投資有価証券等、及び管理部門にかかる資産であります。
4. 減価償却費の調整額66百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額180百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	6,458.45円	7,636.60円
1株当たり当期純利益	1,082.11円	1,217.45円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	13,350	15,020
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	13,350	15,020
期中平均株式数(千株)	12,337	12,337

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益分配に関する基本方針

利益分配は、株主の皆様への安定的な配当継続を重視するとともに、新たな成長分野への機動的な設備投資や研究開発の維持・強化及びESG・SDGsへの取組みを充実させることを基本方針としております。

②当期の剰余金の配当

当期の期末配当金は、1株当たり40円の予定です。

よって年間配当は、中間配当金を加えた1株当たり78円となります。

③次期の剰余金の配当

次期の利益分配につきましては、100年に一度の変革期の中で、ESGやSDGsに注力した機動的な取組みや2025年を見据えた積極的な研究開発による企業価値の向上を重視し、株主還元については、8円の増配を決め、年間配当として1株当たり86円（中間配当として1株当たり43円、期末配当として1株当たり43円）を予定しております。